

当行のCSR(企業の社会的責任)活動をわかりやすくご紹介しております。是非ご覧ください。



特集

MoneyConnection® IN 和歌山県立和歌山商業高校 金銭基礎教育プログラム



支店活動レポート

この街が好きだから、
CSRはわが店スタイル



社会的責任(CSR)を果たすための 紀陽フィナンシャルグループの取り組み

地域金融機関として地域社会やそこに住む人々に、もっと貢献したい。それは普段の業務の中で提供できるものはもちろん、通常の業務以外でも、きっとたくさんあるはずだと、私たち紀陽フィナンシャルグループは考えています。当グループでは「お客さま」「地域社会」「株主さま」「従業員」に対して様々な活動を行っています。地域の人々に関わり、地域の環境を豊かにするために地域金融機関としてどのような社会的責任を果たしていくかを定め、ひとつひとつの課題に取り組んでいます。

※CSR=Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

CSR活動の方針	取り組み課題	2014年の各種取り組み施策
 <p>P9▶11</p> <p>お客さまとの共生!</p> <p>お客さまにやさしいサービスを提供する</p>	ご相談窓口の拡充	お城の前の相談室/ハートフルプラザ/年金相談会、資産運用セミナーの実施/資産運用アドバイザーの配置 など
	役立つ情報の発信	ハローサービスセンター/紀陽ビジネスクラブ など
	地域ビジネスのサポート	公的支援活用の推進/海外ビジネス支援/事業承継支援/経営相談/販路拡大支援/産学連携の推進 など
	お客さま満足の向上	〈キヨー〉ふれあい倶楽部/インターネット投資信託/CS向上施策/紀陽エンジョイ倶楽部Club Off/バリアフリー化への取り組み/ネットワークの拡充/ATMサービスの充実 など
	安心できるお取引の推進	ユニバーサルサービスの推進/高抗磁力化通帳の導入/振り込み詐欺防止 など
 <p>P12▶14</p> <p>地域社会との共生!</p> <p>地域社会の持続的発展をお手伝いする</p>	地域密着型金融の推進	紀陽6次産業化ファンド/わかやま地域活性化ファンドの創設/大規模災害対策に向けた支援/人材確保支援 など
	文化や芸術活動への貢献	紀陽コンサートの開催、美術館・博物館への無料招待(紀陽文化財団) など
	金融教育の実施	小学生向けイベントの実施/金融教育「MoneyConnection®」の実施/高専・大学での講義/インターンシップの受け入れ/職場見学の受け入れ など
	環境保全への取り組み	熊野古道の道普請活動/企業の森事業/環境保全業界団体への参画/環境に配慮した営業(店舗設計・エコ販促品の利用)/世界遺産定期預金の取扱い/ESCO事業の推進/環境関連金融商品の取扱い など
 <p>P15▶16</p> <p>従業員との共生!</p> <p>従業員が働きやすい環境を整備する</p>	人材育成の強化	新入行員研修/階層別研修/職務別研修/OJTの取り組み強化/自己啓発サポート など
	モチベーション向上施策の実施	総合職エリアコースの新卒採用/信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入 など
	働きやすい職場づくり	一般事業主行動計画の策定/配偶者出産休暇制度/半日休暇制度/メンタルヘルスケア体制の強化/セクシャルハラスメントの排除 など
 <p>P17</p> <p>株主さまとの共生!</p> <p>株主さまに信頼される経営を実行する</p>	経営における透明性の確保	web、冊子等での情報開示の充実/各種IR説明会の実施 など
	堅実な経営の継続	安定配当の維持 など
	経営態勢の整備	コンプライアンスの遵守 など



紀陽フィナンシャルグループ行動憲章

1. 公共的使命
5. 従業員の人権の尊重等
2. 法令やルールの厳格な遵守
6. 環境問題への取り組み
3. 質の高い金融サービスの提供
7. 社会貢献活動への取り組み
4. 社会とのコミュニケーションの推進
8. 反社会的勢力との対決

紀陽フィナンシャルグループの誓い

お客さまへの誓い

株主への誓い

地域社会への誓い

MoneyConnection®
IN 和歌山県立和歌山商業高校

次代をになう子どもたちへ

「働くこと」とお金について学ぶ機会を提供する。

金銭基礎教育 プログラム



若者のニート化が大きな社会問題となっています。昨年の文部科学省の調査によると、同年春の大学卒業生約56万人のうち、卒業後の就職や進学の実行者は約3万人。また非正規労働者やニートなど「安定的な職に付いていない人」は約11万5千人で全体の20%を占めることがわかりました。若者の労働意欲や将来設計への意欲低下は、社会全体の衰退につながります。

金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」とは、若者のニート化の予防を目指して、社会にでる前の高校生を対象に「お金・働くこと・人生設計」などについて考えるきっかけを提供する日本初のプロジェクトです。

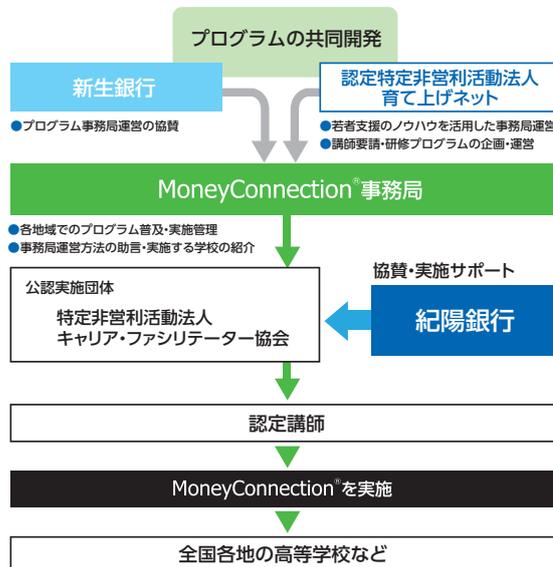
紀陽銀行では、CSR活動の一つとして和歌山県の特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と提携して、和歌山県内と大阪府南部の高校におけるこのプログラムの実施に携わってきました。

未来を担う若い人たちの支援は、地域の経済に貢献する私たちの務めであり、さらに金銭教育という分野は金融機関としての知見を発揮できる領域でもあります。このプログラムの実施例として、本年2月17日に和歌山県立和歌山商業高校において行われた授業をご紹介します。

MoneyConnection®プロジェクト

日本の若者の労働意欲や金銭意識を高めるために、2006年、新生フィナンシャル株式会社と若者支援の認定特定非営利活動法人育て上げネットが共同開発したプログラム。Money Connection®事務局では、全国約500校・7万人の生徒に対してワークショップ形式の授業を実施しており、このプログラムは2010年、企業等による先進的な教育活動を表彰する「第1回キャリア教育アワード」を受賞しました。

和歌山県を基盤に若者の就業・自立支援に取り組んでいる特定非営利活動法人「キャリア・ファシリテーター協会」では、和歌山県下及び大阪府南部地域の高校に対して、ファシリテーター派遣を含む「MoneyConnection®」の委託実施を行ってきました。紀陽銀行は、地域の教育支援の一環として、2012年より同協会と提携してこのプロジェクトに参画。プログラムの運営・実施に協賛しています。



◎キャリア・ファシリテーター協会

2006年にキャリア支援に取り組む有志により設立。和歌山県・厚生労働省の委託事業を中心に、地元行政や地元企業との連携による若者の就業・自立のプロジェクトを企画・実施。2010年より「MoneyConnection®」の実施に携わり、2014年9月末現在、29校の展開実績があります。

◎認定特定非営利活動法人育て上げネット

就労意欲を持ちながらも機会をつかめない若者を対象にしたジョブトレーニングやキャリアコンサルティング、また親子を対象とした就職相談などに取り組む支援組織。東京・大阪を中心に厚生労働省委託事業を含む就労・自立支援プロジェクト事業を展開しており、2009年には経済産業省ソーシャルビジネス55選に選定されています。

プログラム LIVE リポート

MoneyConnection® IN
和歌山県立和歌山商業高校



1 ゲーム感覚で スタート

今回の「MoneyConnection®」プログラムの対象は和歌山県立和歌山商業高校の2年生約120名。授業はクラス単位(各30名前後)で行われました。

最初に「キャリア・ファシリテーター協会」から派遣されたファシリテーターが内容をガイダンス。この日のテーマは「お金と仕事」。授業はシートへの書き込みやカードゲーム形式で行われます。金銭教育という耳慣れない言葉に最初は少し緊張気味だった生徒たちも、授業内容を聞いてリラックスし、興味がわいてきた様子。さっそく最初のワークの開始です。

プログラムは「稼ぐ」編と「使う」編があり、この日は「稼ぐ」編で授業。



2 生活コストを 考える

配られたのは食費、通信費、交際費等々の生活経費の項目が印刷されたシート。「皆さんが一人暮らしを始めたとして、月給20万円を生活費にどう割り振るか、考えて書いてみましょう」自分の生活は一体どれだけの金に支えられているのか?高校生にとってはなかなかの「難問」だったようです。隣の人と相談したり、ノートに計算を書き付けたり…。ファシリテーターが実際の金額(一般的な国民の平均値)を発表すると「家賃でそんなに高いの?」「交際費が5万円以上?信じられない」といった声が次々に上がりました。とりわけみんなを驚かせたのは健康保険や年金、税金などの負担の大きさでした。

憧れ(?)の一人暮らしを想定して、細かい生活費をシートに書き込んでいく。



給料から必要額を引くと自由になるお金。いくらだろう?

どこまで見えた? お金のこと、君の未来



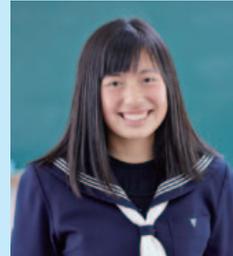
●中島大和くん
■シミュレーション・データ
働き方は…派遣社員
月収15万円
将来…30歳・既婚・子供なし・賃貸住居

シミュレーションでは僕の月収は15万円で、実際に自立生活にかかる費用に5万円も足りない計算。現実だったら大変だと思います。おまけに将来は30歳で結婚という設定。この場合、やはり夫婦共稼ぎしかないのかな。この授業を受けるまではこんなこと想像もしなかったです。



●坂本陵くん
■シミュレーション・データ
働き方は…派遣社員
月収15万円
将来…37歳・既婚・子供一人・持ち家

健康保険や税金については何も知らなかったので、先生が教えてくれた実際の金額を聞いてびっくり。大人って大変なんだとわかりました。将来、家族を持って、家建てて…とイメージすると、やはり安定した働き方が大切。少しずつ収入が上がるよう努力も必要だと思います。



●池田真悠子さん
■シミュレーション・データ
働き方は…正社員
月収30万円
将来…30歳・既婚・子供なし・賃貸住居

シミュレーションによる私の将来は「親子3人で実家暮らし」。独立できていない感じでツライな(笑)。結婚しても夫に頼るのではなく自分の稼いで家を建てるぐらいの気持ちでがんばりたいです。最初はお給料は少なくとも良い職場をどんどん見つけてキャリアアップしたいですね。



3 稼ぎ方・働き方を決める

次は生徒たちが将来の「働き方」や「月収」をシミュレーション。正社員・派遣社員・フリーター…どんな形で稼ぐかは、その人が引いた「稼ぎ方・働き方カード」で決定します。「派遣社員で月収30万…まあまあかな」と満足する人、「わあ、所得格差だ」と嘆く人などさまざま。それぞれの稼ぎ方と給与によって労働時間や自由時間が決まることもわかりました。これまで何となくわかっているつもりだった「働き方による生活の違い」が高校生たちにもはっきりと見えてきたようです。

働き方と月収をカードで決定。月収から働く時間も逆算してはじきます。



正社員・派遣社員・フリーター。安定度や自由度などでそれぞれ特長があることを知る。

4 将来像をリアルにイメージ

最後はいよいよ自分の未来像を考えます。「稼ぎ方・働き方カード」を引くと、そこに書かれているのは10年～20年後の自分の家族構成や暮らし方。配偶者や子どもの有無、持ち家が賃貸住まいか…。リアルな将来像から逆算し、先ほど決めた月収や働き方で「本当に生活が成り立つか？」を検証していきます。「派遣社員で子ども二人はきついな」「共働きならなんとかかなりそう」…授業の終盤になると、生徒たちの声もすっかり真剣に。

「将来像をイメージした上での「働き方」の選択が大切」というファシリテーターの言葉で締めくくられた今回の授業。わずか45分間でしたが、高校生たちには大きな収穫があったようです。

働き方が同じグループで、10年後～20年後の生活をシミュレーション。



同じ収入でも将来像が違くと…?



●福井菜奈さん
■シミュレーション・データ
働き方は…派遣社員
月収20万円
将来…32歳・既婚・
子供一人・実家住まい

母が家計のやりくりをしている姿を普段目に見ているので、生活の費用などについてはかなり想像に近かったですね。シミュレーションの働き方や収入だと、夫婦共稼ぎなら結構構想とりで暮らせるのでは。私は看護師を目指していますが、この将来像は理想に近いかも知れません。



生きる知恵と力としての金銭基礎教育を

今回の「MoneyConnection®」プログラムを担当
キャリア・ファシリテーター

●小山貴子さん

日本人に昔からある「子どもにはお金の苦労は見せてはいけない」という意識。それが親の側に強くありすぎて、子どもに金銭意識や経済観念が育ちにくいのかもかもしれません。「MoneyConnection®」を体験した高校生たちも、例外なくリアルなお金の話に驚いたり当惑したりしますが、一方この授業をきっかけに自分の将来を真剣に考え、友人や親と話し合うようになっています。彼らは、大人が考えるよりもずっと現実を生きる知恵と力を学びたがっているのです。



地域のため、みんなのため、**知恵**と**汗**をしばっています!

この街が好きだから、 CSRはわが店スタイル

地域のイベントへの参加

お祭りや地域イベントでのお手伝い、
参加を通じて地域の方々と
交流を深めています。



- 1.本店営業部(ツナヒキNight2013「つなひき王者決定戦」) 2.屋形支店(屋形大通り商店街年末大売出し) 3.和歌浦支店(和歌祭) 4.松江支店(植樹祭)
5.六十谷支店(盆踊り大会) 6.貴志川支店(和歌山県綱引フェスティバル) 7.粉河支店(粉河祭り) 8.妙寺支店(かつらぎ町産業まつりイベント「かつらぎ三輪車4時間耐久レース」)
9.九度山支店(紀の国わかやま国体リハーサル大会「なぎなた競技」) 10.橋本支店・橋本林間支店・橋本彩の台支店(まっせ・はしもと) 11.高野山支店(老人ホーム南山苑の夏祭り)
12.海南支店(紀州漆器まつり) 13.海南駅前支店(ふるさと海南まつり) 14.野上支店(世界民族祭in真国) 15.箕島支店(「時さかのぼる歩き旅」ウォーキング)
16.金屋支店・吉備支店(全国棚田「千枚田」サミット) 17.由良支店(由良ふるさとフェスティバル)



18.御坊支店(御坊商工祭) 19.印南出張所(紀の国わかやま国体リハーサル大会「自転車競技」) 20.南部支店(みなべはあととはあとグランドゴルフ大会)
 21.田辺支店・田辺駅前支店(弁慶ゲタ踊り) 22.朝来支店(紀の国わかやま国体リハーサル大会「軟式野球」) 23.白浜支店(砂まつり大会)
 24.日置支店(日置川リバーサイドマラソン大会) 25.周参見支店(イノブータン王国建国29周年祭) 26.串本支店(特別養護老人ホームにしき園夏祭り)
 27.古座支店(社会福祉法人高瀬会夏祭り) 28.勝浦支店(まぐろ祭り) 29.30.新宮支店・本宮支店(天空ハーフマラソン) 31.泉南支店(泉南藤まつり)
 32.熊取支店(しばふプロジェクト) 33.泉北支店・泉大津支店(泉大津未来ビジョン商連わいわいフェスタ) 34.狭山支店(大阪狭山市産業まつり)
 35.河内長野支店(河内長野シティマラソン) 36.堺支店(大小路筋イルミネーション) 37.東大阪支店(七夕笹飾り) 38.高田支店(おかげまつり)

清掃活動

地域の環境美化・環境保全を
目指した取り組みを
実施しています。



1.和歌山中央支店・和歌山市役所支店 2.橋向支店 3.県庁支店 4.湊支店 5.紀三井寺支店 6.紀の川支店 7.延時支店 8.岩出支店・紀泉台出張所・桃山出張所
9.打田支店 10.名手支店 11.高野口支店 12.海南東支店 13.湯浅支店 14.太地支店 15.岬支店 16.尾崎支店 17.羽倉崎支店・日根野支店 18.鶴原支店
19.東貝塚支店・水間支店 20.岸和田支店・東岸和田支店 21.久米田支店 22.和泉寺田支店 23.和泉中央支店 24.泉ヶ丘支店・北野田支店 25.深井支店



26.中もぐ支店 27.鴻池新田支店 28.八戸ノ里支店 29.平野支店 30.住吉支店 31.上本町支店 32.大阪中央支店 33.大阪支店

店舗を使った活動

地域の皆さまの作品展示や、季節の飾りつけで楽しいお店づくりをしています。



1.松ヶ丘支店 2.箱作支店

その他

営業店でできる様々なお手伝いや地域貢献活動を進めています。



1.2.3.水道路支店・宮北支店・太田出張所(交通安全運動)
 4.東和歌山支店(振り込み詐欺等防止啓蒙活動)
 5.神前支店(全国交通安全運動) 6.国体道路支店(献血) 7.堀止支店(献血)
 8.加茂郷支店(振り込み詐欺防止活動) 9.鳳支店(交通安全運動)
 10.北花田支店(献血) 11.八尾南支店(献血) 12.大阪北支店(献血)
 13.新大阪支店(献血) 14.五条支店(仮設住宅訪問)

お客さまとの共生!



お客さまに寄り添い、よろこびや課題を共有していくこと。
それが紀陽銀行の務めです。

もっと、つながりを 深めたい

店舗の新規開店・機能拡張

岩出支店、広々と一新。 いっそう快適にお迎えいたします。

紀陽銀行の支店は、お客さまと私たちの絆が生まれる大切な場所。店舗の新規展開や機能の拡大は、私たちが最も力を入れている取り組みです。

平成26年は「岩出支店」を新築移転し、10月よりリニューアルオープンしました。和歌山県北部の旗艦店舗の一つである岩出支店は、店内の老朽化が進み、駐車場は一部別敷地にあるなど、お客さまにご不便をおかけしていました。新店舗はロビーも広々と設け、プライバシーに配慮した窓口や専用ブースを増設。心地よくゆったりとした空間で、資産運用やご融資などのご相談を承ることができるようになりました。また、休日にご利用いただける個室型の全自動貸金庫を設置。国道24号線「中迫交差点」に近接した立地で駐車場も拡張し、いっそう便利にご利用いただけます。



富田林支店がオープン。大阪府内 38カ所まで支店網が広がりました。

平成26年10月、河内長野支店の2階に「富田林支店」を開設いたしました。平成27年春のオープンに向けて建設中の「富田林支店」に先駆けて、ランチ・イン・ランチ(一つの店舗で2支店が営業)方式で開業した店舗です。富田林支店オープンにより、紀陽銀行の大阪府内の支店数は38店となります。

今後も、「いっそう便利で身近な紀陽銀行」を目指してまいります。

ATMの利便性向上

ステーションATM『Patsat』。 便利さを、ぜひご体験ください。

お客さまの便利な窓口としてご利用いただいているATM。中でもご好評を頂戴しているのが、南海、阪急、北大阪急行の各私鉄と神戸市営地下鉄の主要駅構内にある「Patsat(パッとサット)」。ご通勤やご帰宅の途中などにお引き出しと残高照会をスピーディにご利用いただけるステーションATMです。紀陽銀行では、この「Patsat」をさらにリーズナブルにご利用いただけるよう、お引き出し手数料を「平日の8時45分から18時まで」の間、無料化させていただいております。

また、個人のお客さまが三菱東京UFJ銀行ATMを利用した際の、他行ATM利用手数料108円をキャッシュバックするなど、お客さまとの接点としてのATMサービスの充実を図っています。



商品・サービスの新展開

より快適にご利用いただくために 高抗磁力化された通帳を導入しました。

お客さまにより快適に紀陽銀行をご利用いただくために、平成26年11月15日以降発行の普通預金通帳と総合口座通帳を、高抗磁力化された通帳に切り替えをいたします。従来の磁気ストライプは、携帯電話の磁力やバッグの留め金磁石などの影響で破損する場合があります。そこで今回、外部磁力の影響を受けにくい新通帳の導入を行うことにいたしました。

また、この新通帳は適切な森林の環境保全に配慮された紙製品に与えられる「FSC認証」を受けた通帳を採用しております。

旧磁気ストライプ通帳は継続してご利用可能ですが、次回繰越時には新通帳に切り替えさせていただきます。



※FSCの認証のしくみ

FSCの森林認証制度は、森林の管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行われているかどうかを、信頼できるシステムで評価し、それが行われている森林を認証します。そして、その森林から生産された木材や木材製品(紙製品を含む)に、独自のロゴマークを付け、市場に流通させています。



もっと、ご満足を高めたい

お客さまの福利厚生サポート

紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off誕生。企業のお客さまと働く皆さまを応援します。

平成26年4月より「紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off」をスタートさせました。「紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off」は、紀陽銀行を給与振込口座※に指定しているお客さまに対して、会員限定の優待特典をご提供するサービスです。全国の有名テーマパークや飲食店、映画館などのレジャー施設や、国内のリゾートホテル・ビジネスホテル約20,000軒を対象とした優待割引のほか、英会話教室や家事代行、ショッピングのディスカウントなどの豊富なサービスメニューが揃っており、個人のお客さまだけでなく、企業の福利厚生としても幅広くお役立ていただいております。

※通帳の摘要欄に「給与振込」と表示されているもの



全国約700ヶ所の
日帰り湯施設が

最大 **70%OFF**

国内のリゾートホテルや
ビジネスホテル約20,000軒が
※VIP会員がワンプライスカンパーンご利用時

最大 **90%OFF**

各種有名レジャー施設が
※VIP会員時の最大割引率

最大 **75%OFF**

※お客さまご自身でVIP会員(月額500円(税別))へアップグレードされない場合、スタンダード会員(無料)でのサービス利用となります。

CS向上への取り組み

お店で感じてください。 CS向上へ向けた、私たちの情熱。

紀陽銀行では日々CS向上に取り組んでいます。定期的にお客さまへの対応や身だしなみ、店内清掃などについてチェックシートを用いて点検し、その点検結果をもとに反省点と改善策を話し合い、よりお客さまの満足度を高める活動を行っています。

そうしたCS向上運動のまとめ役を担っているのが、「CSリーダー」です。各支店に一人ずつ配置し、毎日の朝礼時には、お客さまへの対応について注意喚起などを行っています。半年に一度、全店のCSリーダーが集まり、それぞれのCS取組状況等の発表を通じてCS活動のレベルアップにつなげています。

また、外部業者による「CSモニタリング調査」を実施。お客さまにご満足いただけるサービスを目指してまいります。



声

CS向上に取り組む行員の

行員同士の「和の質」を高め、
期待される以上の
サービスを目指します。

吉備支店 業務課
宮本 加奈子



吉備支店は挨拶を大切にしている店舗。お客さまへの心をこめたご挨拶、そして行員同士の元氣な挨拶、声かけが絶えないお店です。支店のCS基本方針は「行員同士がチームワークを発揮し、お客さまに最大限の満足を感じていただけるよう努める」そして、「CS向上の意識と規律正しい行動により、安定した業務運営の継続を目指す」。この2つの方針を全行員が共有できるよう、CS向上チェックシートを作成し、毎日の朝礼で読み合わせをしています。またCS会議は隔週に開き、期に一度はお客さまへのアンケートを実施してご意見を反映できる体制づくりに努めています。今後もお客さま目線で物事をとらえ、行員同士の「和の質」を高めることで、期待される以上のサービスをお届けできる支店を目指すとともに、これからは地域のイベントにも積極的に参画し、「お客さまからファンへ」と関係性を深める取り組みを続けていこうと思います。

もっと、ビジネスを 応援したい。



経営改善・経営戦略のサポート

専門スタッフとネットワークが 経営の「今」と「未来」をお手伝い。

厳しい経済環境の中でがんばっておられる中小企業のお客さまをサポートすることは、地域密着型金融の最も大切な役割です。紀陽銀行は、専門スタッフを擁した経営支援サービスのセクションを設け、お取引先からのご相談にお応えしています。

その一つが、経営改善に取り組まれているお客さまを支援する「経営サポート室」。財務内容の改善、経営計画全体の改善計画策定、また再生支援融資の取り組みなどを含めたお手伝いに努めており、中小企業再生支援協議会などの外部団体とも連携しています。

さらに、経営戦略や事業承継といった課題をお持ちのお客さまをサポートするのが「ピクシス営業室」です。財務や法律などの知識や情報の提供とともに、販路開拓、ビジネスマッチング、後継者育成・人材育成などについても、具体的なご提案を含めたコンサルティングを行う窓口となっています。地域経済活性化支援機構や教育機関などの外部団体とも、密なネットワークを築いています。

声

ビジネスサポート専門スタッフの

仕事の喜びを感じるのは、
ビジネスマッチングが
生まれる瞬間です。

地域振興部 ピクシス営業室
岡田 善夫



ピクシス営業室で主に担当しているのは産学官連携。大学や公的機関とのネットワークによる技術・知的財産活用支援を通じて、地元中小企業の皆さまの新製品開発や新事業創出をお手伝いしています。また、大規模災害時などに備えたBCP(事業継続計画)の策定支援にも取り組んでいます。こちらは、紀陽リース・キャピタルと提携した、お客さま向けのセミナー開催や模擬訓練実施を通じてBCP策定をサポートするのが主な仕事です。

産学官連携はお客さまニーズの細やかな把握と、それに基づく外部機関との適切なマッチングが重要。人脈構築と情報力の強化が不断の課題ですね。またBCP策定では、専門的な対応のために事業継続管理者資格を取得しました。中小企業の皆さまのイノベーションこそが地域経済活性化につながる。そう信じてがんばっていきたくです。

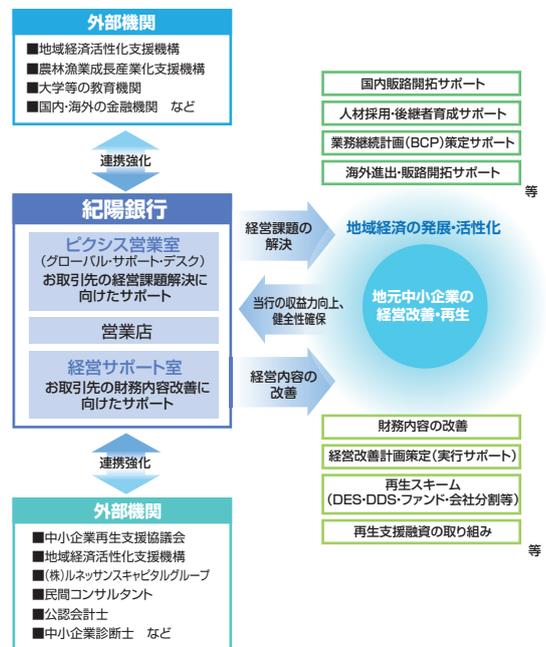
海外進出のサポート

ビジネスの新天地へ。その一步を 情報とネットワークで後押しします。

海外へのビジネス進出をお考えのお取引先をお手伝いする「グローバル・サポート・デスク」。現地の経済状況についての情報提供や、外国為替業務などをサポートする専門セクションです。コンサルティング会社や公的機関など、外部専門家とも連携し、2カ月に1回、外部専門家を相談員とした「海外ビジネス個別相談会」(無料)を開催。個別のお取引先ニーズに応じた海外販売ルート、パートナー企業のご紹介など、ビジネスマッチングの支援にも力を入れています。

また、紀陽銀行では海外の金融機関との業務提携を推進し、現地とのネットワークを通じた市場情報のご提供や、資金調達サポート体制も確立しています。平成25年から26年にかけては、フィリピン、台湾、ベトナムの有力銀行と提携契約を結び、多くのお取引先の事業拡大にお役に立てております。

新たな可能性に向けて踏み出す企業の皆さまに、自信をお届けできる私たちでありたいと願っています。



グローバル・サポート・デスク



ピクシス営業室

地域社会 との共生!

地域とともに成長する金融機関として、
さまざまな活動を行っています。

未来の担い手を 応援したい

学生に向けた教育支援

中学生 に向けて

職場見学により キャリア教育を お手伝いしています。

紀陽銀行では、銀行業務を通じて地域の子どものためのキャリア教育をお手伝いしています。毎年、和歌山県内の中学校を対象に職場見学の機会を提供。平成25年11月13日には、向陽中学校の生徒の皆さま8名が当行を訪問され、本店営業部を見学。銀行の仕事の流れ、社会貢献、仕事のやりがいなどについて職員と熱心な質疑応答を行いました。



大学生 に向けて

銀行の知見と人材を使い、 経済・経営の実践教育を実施しています。

金融機関の知見と人材で、地域の教育に役立てる活動を行っています。その一つが、和歌山県が「産業人材育成支援事業」の一環として実施している学生向け講座への行員の派遣です。平成26年1月には、和歌山工業高等専門学校で開催された「企業実践講座」にて当行の行員が講義を行いました。講義では、財務管理をテーマに、企業の経済活動の読み解きや、決算書についての解説など、普段学生がふれることのない知識を啓蒙。

また、10月には、和歌山大学において当行の役員が「和歌山企業トップ経営論」として現場の経営学をレクチャーいたしました。



大学生 に向けて

学生と企業の「出会いの場」として 合同企業説明会を開催しています。

紀陽銀行では、和歌山県と大阪府の大学生の皆さまに対して、合同企業説明会やセミナーを開催しています。当行のお取引先を含む地域の企業に参加いただき、学生の皆さまへの自社PRの機会を提供しています。

平成25年から平成26年においては、和歌山大学、近畿大学、和歌山工業高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校などで合同企業説明会を実施。また平成25年12月には、大阪府との連携により大阪最大の合同企業説明会「OSAKAジョブフェア」へ協力企業として参加いたしました。

学生の皆さまへの就職機会の創出と、地元企業の皆さまの人材確保のサポートに、今後も力を注いでまいります。



●平成25年度の具体的な取り組み

内容	実施時期
和歌山大学	
外国人留学生対象「学内企業説明会」	平成25年4月
合同企業説明会	平成25年6月
和歌山工業高等専門学校	
和高専企業合同説明会	平成25年12月
大阪府立大学工業高等専門学校	
大阪府立高専企業合同説明会	平成25年12月
近畿大学	
「生物理工学部」合同企業説明会	平成25年6月
大阪府と連携	
大阪府立大学合同企業説明会&面接会	平成25年10月
OSAKAジョブフェア(大阪最大の合同企業説明会)	平成25年12月

大学生 に向けて

職業意識を高めるための インターンシップの 受け入れを行っています。

地元学生の皆さまへの職務体験の場としてインターンシップの受け入れを行っています。今年も平成26年8月18日から22日の5日間、12大学36名が参加されました。参加される学生の皆さまには、グループワークによる就業体験、営業店での実習体験、またその後の意見交換会などを通じて、金融ビジネスへの理解と知識を深めていただいております。

経済と文化を 支えたい

地域産業の支援ファンド設立

農林漁業・観光業への 投資事業をスタートしました。

紀陽銀行では、地域の特性ある産業の支援育成のために、平成26年1月に2つのファンドを設立しました。その一つが「紀陽6次産業化ファンド」(正式名称:紀陽6次産業化投資事業有限責任組合)です。

これは、国が主導する農林漁業再生戦略の一つである6次産業化の支援機構法施行を受けて、農林漁業事業者とそのパートナー事業者が立ち上げる新たな事業計画を投資の形で支援していくもの。当行グループと他の金融機関、公的機関の連携によって運営し、平成26年8月にはその第一号として、和歌山県新宮市の国内養殖魚の加工・海外輸出事業への投資が決定しました。

もう一つが、和歌山県内の観光分野における地域経済活性化の支援を目的とした「わかやま地域活性化ファンド」(正式名称:わかやま地域活性化投資事業有限責任組合)です。株式会社地域経済活性化支援機構およびそのファンド運営子会社と連携し、地域の金融機関が地元の観光産業に出資を行うもので、同機構が関与する地域活性化ファンドの第一号となります。

※6次産業化とは

第1次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけでなく、それを原材料とした加工食品の製造・販売、観光農園といった地域資源を活かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むこと。

声

わかやま地域活性化ファンド 担当者の

**銀行が株主となり、地域経済を
新たな発展のステージへ押し上げたい。**

地域振興部 地域活性化室
新山 昭和



定期的な文化事業の開催

恒例の紀陽コンサート、 今年も2度にわたる演奏会を行いました。

芸術や文化の振興を通じた豊かな地域社会づくりは、企業市民としての使命だと考えます。こうした活動の一環として、一般財団法人紀陽文化財団では、平成7年より20年間にわたって「紀陽コンサート」を開催しています。平成26年2月16日にはピアニストのイリーナ・メジャーエワ氏を迎えて、第37回目の演奏会を開催。また9月13日には、飯森範親氏の指揮、日本センチュリー交響楽団による第38回目の演奏会を行いました。

紀陽文化財団ではこの他に、和歌山県立近代美術館・博物館で開催される展覧会へ、地域の皆さまをご招待しており、芸術による感動を通じた心豊かな社会の創造に貢献しています。

地元企業の成長支援は、複数企業の経営資源とノウハウを結集させることでより大きな成果につなげることができます。その取り組みをまかされているのが、私たち地域ファンドの担当部署。新しいビジネスモデルの誕生に立ち会い、また本来受動的な立場である銀行がファンドを通じた株主となることで、能動的に事業に関わっていく。やりがいのある仕事に取り組んでいると感じます。6次産業化による地域産品の付加価値向上と、観光振興による域内GDP(総生産)の増強が大きな目標ですが、さまざまな案件の中から個別企業の利益に止まらない、社会性のある洗練されたビジネスモデルに高める難しさを感じています。

発生する各論を忍耐強く克服し、成果に結びつけるために、外部専門家の知恵を学び経験値を高めていきたいですね。



地域の美しさを 守りたい

「企業の森」事業への参加

日高川町「紀陽の森」で役職員が 森林保全活動に参加しています。

和歌山県が森林の環境保全を目的に実践している「企業の森」事業。緑豊かな「木の国」と呼ばれる和歌山の森林を未来へ残すために、企業のCSR活動などの一環として森林環境保全を行う取り組みです。

紀陽銀行はこの事業に平成18年より参加。和歌山県日高川町の「紀陽の森」で、行員やその家族の手でヤマザクラやコナラ、ヤマモミジなどさまざまな種類の苗木約3,300本の植樹を行いました。

現在は毎年、役職員からボランティアを募って下草刈り活動を実践しており、ふるさとの美しい自然を次の世代へ伝える取り組みを続けています。



世界遺産の保全活動

熊野古道を未来へ残すための 修復活動に取り組んでいます。

和歌山県が世界に誇る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一つである熊野古道は、年間を通じて雨量が多い地域にあり、台風などの被害にもたびたび見舞われています。また、同じ世界遺産でも、修復に専門技術が必要な寺社などとは違い、一般の人も修復に参加できるという珍しい特徴を持っています。

紀陽銀行では役職員のボランティア参加によって熊野古道参詣道の傷みを修復し、その価値を次代へ伝えていく取り組みを平成24年12月から開始。和歌山県世界遺産センターの職員の立ち会いのもと、道普請(土の補充)を中心とした活動を続けています。

数ある世界遺産の中でも景観価値、文化価値がきわめて高く、和歌山県民の共有財産である熊野古道。企業市民としての責任感をもって、その継承・保存に取り組んでまいります。



世界遺産定期預金の販売

「お客さまとともに熊野古道保全を 目指す」定期預金を取り扱っています。

平成26年7月に世界遺産登録10周年を迎えた熊野古道。紀陽銀行では、その豊かな価値を守りたいという思いから、平成25年6月より「世界遺産定期預金」の取り扱いをスタートいたしました。

本定期預金は、お客さまからお預けいただいた金額の0.01%相当額を、和歌山県世界遺産協議会に寄付させていただき、「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動のサポートにお役立ていただくものです。多くのお客さまにご賛同をいただき、第2回目

となる平成25年11月1日からの取り扱い開始分も募集総額300億円に到達いたしました。平成26年6月3日には、当社グループの片山取締役頭取より和歌山県世界遺産協議会への寄付金贈呈が行われました。

平成26年6月より第3回目の取り扱いを行っています。

従業員 との共生!



お客さまに優れたサービスをお届けするために、
行員が全力を発揮できる職場を目指します。

より良い生活を バックアップしたい

一般事業主行動計画の 目標を全て達成

計画達成により「子育てサポート企業」 として認定されました。

紀陽銀行では、次代の社会を担う子どもが健やかに育成される環境を整えるための「次世代育成支援対策推進法」に基づき、従業員の仕事と子育ての両立を支援する雇用環境の整備などを目指して、「一般事業主行動計画」を策定。平成22年4月からスタートした行動計画については、平成25年9月をもって目標をすべて達成いたしました。

行動計画達成の結果、平成25年11月、和歌山労働局より「子育てサポート企業」として認定を受け、「くるみんマーク」を取得しました。

現在、当行は新たな行動計画を設け、全行員がワーク・ライフ・バランスを実現できる職場づくりに取り組んでいます。



ワーク・ライフ・バランスの実現

仕事と育児の両立など、働きやすい 職場づくりを高く評価されました。

仕事と生活の調和がとれたライフ・スタイルが、行員の心や行動の質を高めていくという考え方から、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。平成20年には「配偶者出産休暇制度」を導入、また平成22年には育児休業期間を延長。さらに自己啓発支援システム(e-ラーニング)を活用した育児休業取得者の職場復帰支援体制を整備しました。平成24年には、女性の能力発揮や、仕事と育児、介護を両立できる職場環境づくりの規範となる企業を表彰する「均等・両立推進企業表彰」(厚生労働省主催)の均等推進企業部門で、和歌山労働局長優良賞を受賞いたしました。

仕事のやりがいや充実感と同じように、家族との生活や地域での活動などを重視したライフ・スタイルを選ぶ人も増えていきます。一人ひとりの価値観を大切にしながら、職務に力を発揮できる職場環境を実現するために、これからも新しい課題に取り組んでまいります。



声

一般事業主行動計画に取り組んだ行員の

多様な働き方が実現できる 職場環境づくりに 取り組んでいます。

人事部
森本 亜希



「一般事業主行動計画」に取り組んだ一担当者として、昨年の「子育てサポート企業」認定はとてうれしい結果でした。「育児休業の取得促進」「連続休暇の取得促進」「時間外勤務の削減」「育児休業からの職場復帰支援」の4つを目標として活動しましたが、特に4つ目の目標には力を入れ、自宅においても学習可能な自己啓発支援システムを導入できました。昨年からは始まった新しい行動計画では、前回の課題を継承しつつ、「育児休業の取得率」を90%にまで引き上げるなど目標値を上げ、自己啓発支援システムのプログラムの充実と利用促進にも取り組んでいます。

ライフプランやキャリアプランに応じ、多様な働き方が実現できる職場環境づくりと制度づくりにこれからも取り組んでいきます。



行員の成長を 支えたい

キャリア支援制度の充実

自己啓発をサポートする さまざまな仕組みを整えています。

紀陽銀行では、「行員一人ひとりが知恵を絞り、汗をかき行動する銀行」を目指しています。教育・研修制度においては、研修プログラムの充実とともに、行員が積極的に「自己啓発」を行える環境づくりを推進しています。例えば「休日セミナー」を開催し、金融や銀行業務に関するプログラムから、公的資格取得に向けた試験対策セミナー、またマネジメントに関する講義などにより、スキルやキャリアを向上できる機会を提供。さらに、インターネットによる自己啓発支援システム(e-ラーニング)を導入し、自宅でも能力向上が図れる環境を整えています。

■休日セミナー(例)

セミナー名	テーマ・目的
財務分析を融資提案に活かすセミナー	財務分析に関するポイントの習得
事例から学ぶ法人融資提案のポイントセミナー	融資提案力の向上
法人新規開拓の秘訣セミナー	法人新規開拓に役立つソリューション提案の手法を習得
投資信託販売スキル向上セミナー	投資信託提案へのプロセスおよびニーズ喚起の習得
経済セミナー	経済動向やマーケット環境の理解
外為ソリューション実践セミナー	外為取引に関する知識の向上および切り口の習得
セールスコミュニケーションセミナー	お客様のニーズの理解とコミュニケーション力の向上
女性が輝くスキル向上セミナー	女性が活躍するための自己マネジメントの習得

総合職エリアコースの新卒採用

自由度の高いキャリア制度で 人のポテンシャルを引き出します

紀陽銀行というステージの中で、自己の能力を伸ばし、将来への夢を大きく広げて欲しい。そんな願いのもと、人材採用にあたっては将来のキャリアデザインを選択できる「コース制度」を導入しています。平成26年4月より、安定した環境でキャリアアップを目指す「総合職エリアコース」の新卒採用を開始。これは転居が伴う転勤がなく、FA(ファイナンシャルアドバイザー)、資産運用アドバイザーなどの営業店スタッフ、本部企画スタッフとして働くことができるコースです。理想的なライフスタイルを維持しながらキャリアが積める環境の中で、行員自身と会社のポテンシャルの最大化を図っていくものです。当行では行員一人ひとりが思い描くキャリアを選択できるコース転換制度を設けており、行員の意欲と情熱に全力で応えています。

声

総合職エリアコースでがんばる行員の

FAとして希望に満ちた 第一歩を踏み出す ことができました

泉ヶ丘支店 営業課
仲村 みのり



転居を伴う転勤をせず、仕事においても自分の力を十分に発揮したいという思いから総合職エリアコースを選択しました。現在、FA(ファイナンシャルアドバイザー)として、お客様のライフプランをお伺いし、資産運用のお手伝いをする仕事をしています。また、専門知識が必要な業務なので、日々資格の勉強に取り組んでいます。

FAになって日が浅いですが、お客さまから「ありがとう」と感謝のお言葉をいただくと、お役に立ててよかったと感じます。お客さまからも支店の人たちからも、「困ったら仲村さんに相談しよう」と思ってもらえるような信頼関係を築いていきたいです。



株主さまとの共生!



責任ある企業態勢づくりと
堅実な成長で、株主さまの信頼に
お応えしています。



まっすぐ正しく、
向き合いたい

情報開示の充実

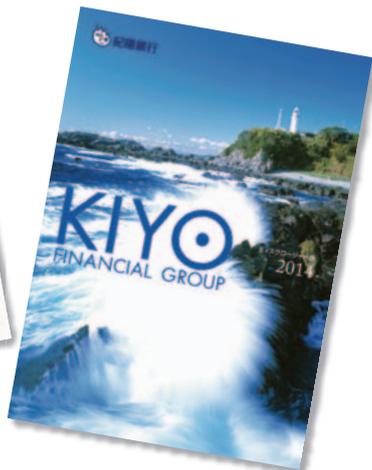
**正確・適切な情報開示を
さまざまな方法で行っています。**

情報開示の充実は、お客さまの信頼を預かる金融機関として、また株主の皆さまへの責任を担う企業として、何よりも優先的な課題です。定期株主総会、決算説明会など投資家の皆さまに向けた説明会、経営諮問委員会などの開催により、経営情報を積極的に公開しています。

さらに、法定ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌、ホームページなど、情報公開方法の多様化も早くから実践し、株主・投資家の皆さまはもちろん、広くステークホルダーの皆さまに向けた経営の透明化向上を図っています。

IRカレンダー

5月	決算発表
6月	機関投資家向け決算説明会(東京) 定時株主総会 ミニ・ディスクロージャー誌発行 期末配当金支払い
7月	ディスクロージャー誌発行 地元株主向け決算説明会(和歌山、田辺、堺、大阪)
8月	第1四半期決算発表
10月	Annual Report発行
11月	第2四半期決算発表
12月	ミニ・ディスクロージャー誌発行
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表



コンプライアンス態勢の充実

**コンプライアンスを重視した態勢の
さらなる強化を行っています。**

紀陽銀行は、高い企業倫理の構築に努めており、コンプライアンス(法令等遵守)を重視する企業風土の醸成を重要な課題ととらえています。その実現のため、手引書となる「法令等遵守マニュアル」を全役職員に配布するとともに、年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を制定し、研修や定期的な自己点検を通じて行員一人ひとりが法令等遵守意識を高めることができる態勢を築いています。

また、法令等遵守に関する提言や当行の対応に関する客観的な評価を得るために、弁護士など専門知識を持つ第三者で構成された「コンプライアンス委員会」を設置しています。

そのほか、金融商品取引法に則った勧誘・販売ルールの遵守を掲げた「金融商品の勧誘に関する方針」を定めるとともに、個人情報の保護についても「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を定め、適正な取り扱いに努めています。

安定的な配当の維持

**新たな企業体制においても、
安定的な配当と成長を維持しています。**

紀陽銀行は平成18年より公的資金を受け入れていましたが、平成25年9月にその全額を返済し、経営の健全化が一層進展いたしました。

また、平成25年10月には紀陽銀行と紀陽ホールディングスが合併、紀陽ホールディングスの上場が廃止され、紀陽銀行が東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。

より強くシンプルに生まれ変わった企業体制により、これまでも増した機動力とスピードを発揮し、地域の経済発展に貢献。安定的な配当を維持し、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。

株式価値の向上

**自己株式の取得により
一株あたりの価値向上に努めています。**

自己株式の取得を適時に行うことで、株主の皆さまの一株あたりの価値の向上に取り組んでいます。平成26年度においても731,100株の自己株式を取得いたしました。今後も、利益水準の維持と向上を図りながら、株主の皆さまへの還元の実現を図ってまいります。

平成27年5月、紀陽銀行は創立120周年を迎えます。

Profile

※平成26年9月30日現在

■紀陽フィナンシャルグループ

■会社概要(株式会社紀陽銀行)

- 設立日 明治28年5月2日
- 所在地 和歌山市本町1丁目35番地
- 資本金 800億96百万円
- 店舗数 108店
(和歌山県68カ店(インターネット支店を含む)、
大阪府37カ店、奈良県2カ店、東京都1カ店)
- 従業員数 2,332名(出向者を除く)
- 上場証券取引所 東証第一部

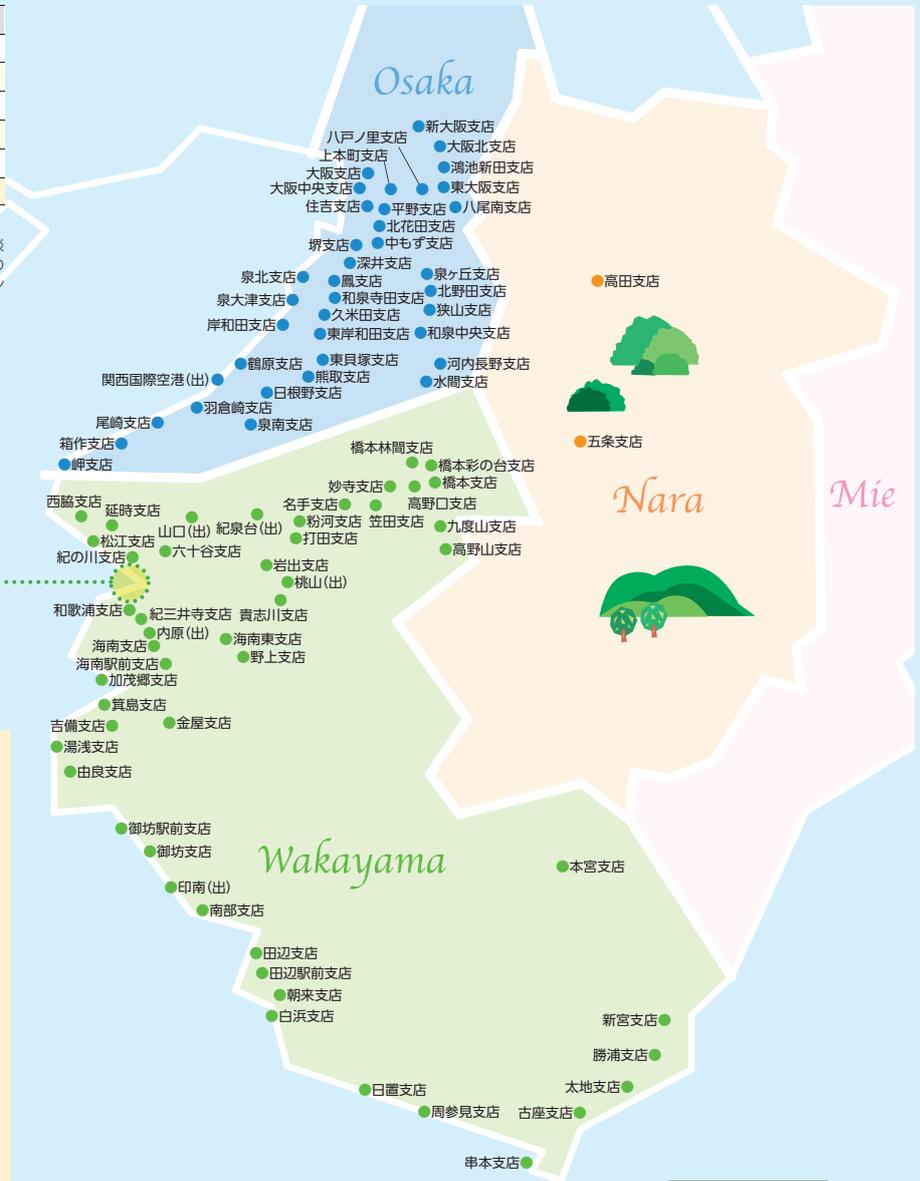
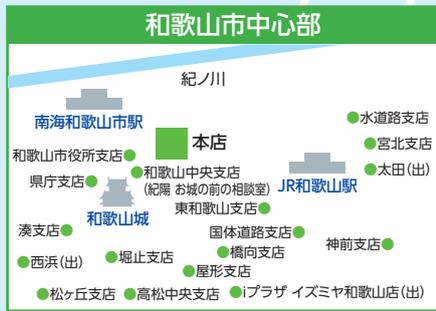


■ネットワーク

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	118
大阪府	37	45
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	108	165

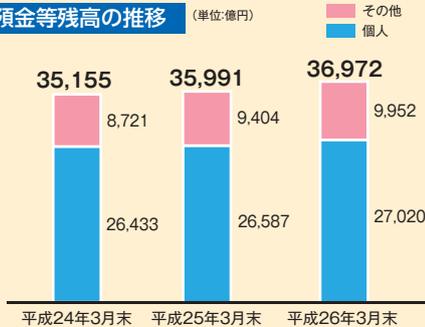
(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インストアプランチ「プラザ イズミヤ和歌山店出張所」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(10カ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。

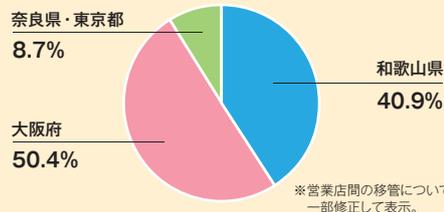


■預金等残高の推移

(単位:億円)



■貸出金地域別構成





紀陽フィナンシャルグループは、2015紀の国わかやま国体・
紀の国わかやま大会を応援します。

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kiyobank.co.jp/>



このレポートには、地球環境に配慮した古紙含有率 70%の再生紙と、
大気汚染を抑制するノン VOC ベジタブルインクを使用しております。

※ VOC…揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds) の総称。
2006 年 4 月 1 日より、大気汚染防止法での VOC を含む有機化合物の
排出規制が始まっています。

平成26年11月発行

株式会社 紀陽銀行

経営企画部 広報・CSR推進室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地 TEL.073-426-7133